

令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立小中一貫校思斉館小学部

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

■ 調査の内容

(1) 教科に関する調査(国語, 算数)

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等にかかわる内容

(2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面に関する調査 (例) 国語への興味・関心, 授業内容の理解度, 読書時間, 勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組, 指導方法の工夫, 学校運営に関する取組, 家庭・地域との連携の状況など

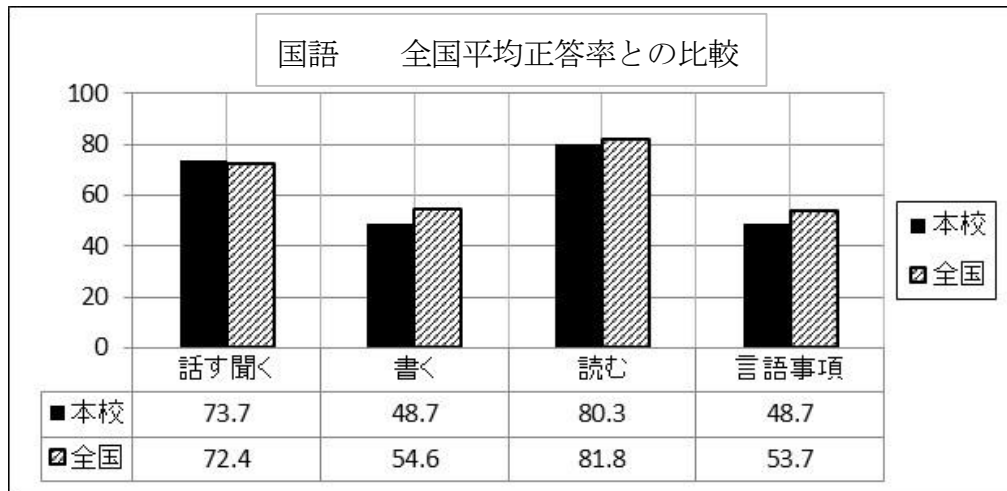
■ 調査結果及び考察について

全国学力・学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご覧ください。

■ 調査結果及び考察

1 国語

(1) 結果



4領域のうち1領域が全国平均正答率を上回り、3領域が下回った。分布の割合をみると、上位の児童が少なく、中位の児童が多い。しかしながら、無解答率はすべての設問において全国平均よりも低く、課題に粘り強く取り組もうとする児童が多いことが分かる。

(2) 考察と課題

今回の調査で、「書く」と「言語事項」の領域に課題が見られた。「書く」領域では、図表やグラフなどの資料を用いた目的を捉えること、情報を相手に伝えるための記述の工夫を捉えること、目的に応じて自分の考えの理由をまとめて書くことができていない。「言語事項」領域では、漢字を文中で正しく使うことができていない（「関心」を「感心」と誤答）。このような資料や情報の活用、記述の工夫、根拠を示して自分の考えを表記する力を育むためにも、国語科の授業では、モデル学習で身に付けた力を使いこなす場を計画的に設定しながら単元の学習を創り上げる必要がある。また、「読む」「書く」の領域と関連付けながら、年間を通して確実に語彙を定着させるとともに、文や文章への理解を深める場を設ける必要がある。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

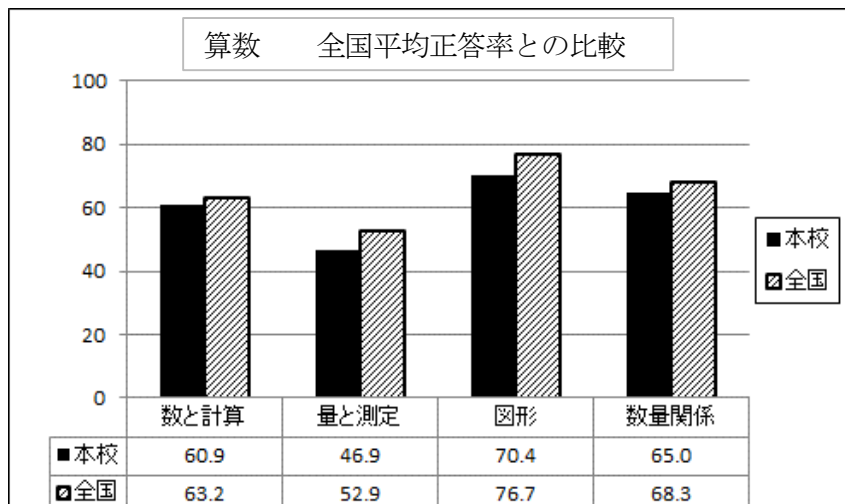
- 同音異義語、熟語に気を付けて、文中で漢字を正しく使う学習に一層力を入れたり、辞書を活用したりしながら、語彙を増やします。
- 資料にある文を引用したり、引用した内容と自分の考えを関連付けたりしながら、目的や意図に応じて自分の考えを明確にし、まとめて書く指導をしていきます。
- 「自分の考えを持ち、友達と話し合い、考えを伝え合う」言語活動を授業場面で設定します。習得した国語の力を活用させる場面を増やすことで、表現力を向上させていきます。

【ご家庭では】

- 家庭での読書の時間を確保することはとても大切です。休みの日にはお子様と一緒に本を読んでもらうことで、本好きで自然に本を手取る子どもに育ちます。読書は言葉の栄養補給です。
- 音読を毎日聞いてあげてください。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとに区切って読めるようになります。また、文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科や他の教科の学力向上につながります。

2 算数

(1) 結果



4領域すべてにおいて全国平均正答率を下回った。問題形式ごとに見ると、選択肢から選ぶ問題の正答率が70%に対して、理由や方法を記述する問題の正答率は41%で、考えを筋道立てて記述することに課題が見られた。分布の割合を見ると、上位の児童が少なく、中位の児童が多い。全体的には、全国分布よりやや下位に偏っている。また、短答式の問題での無解答率が高い。

(2) 考察と課題

今回の調査で、「量と測定」「図形」領域に課題が見られた。「量と測定」領域では、示された図形の面積の求め方を説明すること、「何分間に何個の作業をする」という条件から数量の関係を判断することに課題がある。「図形」領域では、図形の性質や特徴は理解できているものの、合同な図形をずらしたり、回したり、裏返したりして、ほかの図形を構成することにも課題がある。また、説明内容が不足していたり、条件に合わない解答をしていたりと、説明することにも課題が見られる。整数と小数が混じったたし算・かけ算の計算や、計算しやすい方法を考えて別の式に表すことに課題がある。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業では、「めあて・まとめ・振り返り」の一貫性のある学習に取り組みます。自分の考えを図や言葉で表現できるように指導するとともに、それを説明したり、よりよい解決の方法を話し合ったりする活動を通して、思考力、判断力、表現力を養います。
- いろいろな数の情報を整理するときに表やグラフを使ったり、表やグラフにまとめてある情報を関連付けて読み取ったりする活動に数多く取り組ませます。
- 授業の始めに「音読計算」に取り組み、でたし算、ひき算、かけ算、わり算の基礎基本の計算を練習します。

【ご家庭では】

- 毎日の宿題やテストなどに目を通していただき、励ましの言葉やアドバイスをお願いします。
- 算数好きにするには、日常生活で、算数を意識的に話題にするのが効果的です。買い物などの場面は、数学的思考を身に付けさせる絶好の機会です。台所にある調味料や飲み物の容器ラベルにmlやgなどの単位が書いてあります。量や重さの感覚を養うにはとても有効です。
- 根拠、理由をもって自分なりの考えをもつことは、大切です。生活の様々な場面を使って「なぜ」「どうして」を問いかけ、自分で考えたり、一緒に考えたりする機会をつくってください。

3 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校%	全国平均%
朝食を毎日食べている。	86.8	86.7
毎日同じくらいの時刻に寝ている。	36.8	38.9
毎日同じくらいの時刻に起きている。	65.8	58.7
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしている。	48.7	50.1
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している。	23.7	30.1
学校のきまりをまもっている。	51.3	46.7
人が困っているときは、進んで助けている。	40.8	40.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。	90.8	85.0

生活習慣については、起床時刻は約66%の児童が習慣化しているのに対し、就寝時刻は約37%の児童しか習慣化していない。また朝食を毎日食べている児童の割合は約89%で、全国平均と同等である。しかしながら、朝食は1日のエネルギー源であることから、家庭の協力を得て100%を目指すとともに、基本的な生活リズムが習慣化するように指導していく。

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している」と答えた児童の割合は少なく、約24%で全国平均を下回っている。日々の生活の中で様々な経験を積み、自信をもって取り組めるよう支援していく。

規範意識については、肯定的な回答をした本校の児童は全国平均よりも良好な結果が出ている。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均%
自分で計画を立てて勉強している。	28.9	33.1
1日当たりの勉強時間「3時間以上」	3.9	12.1
1日当たりの勉強時間「2時間以上、3時間より少ない」	18.4	16.9
1日当たりの勉強時間「1時間以上、2時間より少ない」	42.1	36.8
1日当たりの勉強時間「30分以上、1時間より少ない」	25.0	24.1
1日当たりの勉強時間「30分より少ない、全くしない」	10.5	9.9

平日1時間以上勉強している児童の割合は65%ほどで、全国平均とほぼ同程度であり、日々の宿題への取組も定着してきている。しかしながら、学習時間が1時間未満の児童が35%ほどいる。また、「自分で計画を立てて勉強している」と答えた児童の割合も30%を下回っている。今後も、「家庭学習の手引き」をもとに家庭学習の意味を保護者や児童に伝え、家庭学習が習慣化するように指導していく。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 毎日、「音読」「漢字の書き取り」「プリントやドリル」を基本とした復習中心の宿題を出します。高学年では、予習復習を含めた自主学習への取組を進めていきます。
- 中学部の定期考査に合わせて、「早寝・早起き・朝ごはん がんばろう週間」と「家庭学習 がんばろう週間」を設定し、生活習慣の改善や家庭学習の定着を目指します。
- 児童の良さを見つけ、自尊感情を高める教育活動を今後も進めていきます。

【ご家庭では】

- 低学年の時から、決まった時間に決まった場所で学習する習慣をつけることは大事です。テレビを消し、静かな環境をつくってください。時には学習の様子をご覧になり、励ましや称賛などの声かけをお願いします。
- 「早寝・早起き・朝ごはん がんばろう週間」「家庭学習 がんばろう週間」などの取組へのご協力を宜しくをお願いします。